

ささやかなことの大切さ

ヤミンハン

私は子供の時から人生の意味を探していた。

「人生に本当に意味があるのか、あったら、

それはどんなものなのか」いろいろ考えてい

た。子供の時の私は世界で成功している人、

歴史に残る人に憧れていた。私の人生の意味

はそういう人たちになることだった。そりい

り有名な人たちのようになるのは私の夢だった。

た。そういう人にならなければ、人生に意味

がない、生まれた理由がないと思っていた。

「成功」こそが私の人生の意味と思い込んで

いた。

そりいり考え方を持っていた私は成功だけ

に集中して頑張っていた。でも、頑張ってい

るうちに苦しくなった。「成功すること」だ

けが人生の意味なら、頑張っている過程に意

味がないといふことなのか、有名じゃない人

には生まれた意味がないといふことなのか、

と考え直すようになった。

その「人生の意味」という言葉に縛られて
生きていた私は世界が教えてくれる教訓によ
って考え方が変わった。国の政治の事情で夢
がつぶれそりになった時、私はもう生きる意
味がないと思って自分を苦しめた。「成功以
外はどれもいい」と思っていた私が人生の
意味を諦めそりになった時、遠いところを見
るのが苦しくなった私は自分の周りを始めて
見た。朝起きて日が昇るのを見ること、雨が
降っている時に好きな本を読むこと、帰り道
で色とりどりの空を見ること、誰かを助けて
その人から笑顔をもらうこと、何か冗談を言
って人を笑わせること、そのささやかなこと
に価値を感じるようになった。

日本人は桜が大好きだ。桜の木の下、桜並
木の道、など、桜に関することを作曲したり、
詩や歌や小説のシーンに描写したりして桜の
美しさをいろいろな方法で表現する。春にな
ると、満開の桜を鑑賞したり、木から落ちて
きた桜の花びらを鑑賞したりする。その単純

で「ささやかなこと」を鑑賞することが日本人の
意味のある人生を送ることのよりに考えるよ
うになった。

自分の周りのこと、「ささやかなこと」を大切
にするよりになっただから、私の人生は以前よ
りもっと楽しくなった。私の人生は以前より
もっと楽しくなった。私の人生は意味を探す
旅ではなくて、その意味を抱えて進む旅にな
った。「受け入れることは変化の始まり」と
いうよりに、自分の周りのことや自分が持つ
ているもの、「ささやかなこと」を受け入れ
ない限り、新しい変化を生み出すことはでき
ない。

留学して初めて「懐かしい」という言葉を
ひんぱんに使うよりになった。人は過去のこ
とを懐かしく思いがちだ。過去の中でどんな
に「ささやかなこと」でも、今思い出すと懐かし
くなる。「お袋の味」、「古里の景色」、「
自分の居場所」、を考えるとその時へ戻りた
いという気持ちになる。それはその「ささわか

なことを私たちが気付かなかったけど心のど
つかに大切にしまっているからだ。そうい
ふのは、人はその過去の小さな記憶を抱えて
大人になる。苦しんでいる時にそのささやかな
記憶が前を進む勇気を与える。
大人になるにつれて、やるべきことが増え
て時間が減り、何に時間を費やすかをちゃん
と考えなければならなくなる。一方に過度に
集中すると、他方を見失ってしまふ。時々考
えているうちに時間だけが経ってしまふこと
もある。この儂い人生で何を大切にすべきか
は問題だ。「人生で一番大切なものは何です
か」と聞かれると、答えはそれぞれ違ふだろ
う。私は何を大切にすべきかを探すより、
道中でのささやかな喜びを大切にすると、人
生はより楽しくなると思ふ。
「遠くを見すぎると自分の周りのことを見
逃してしまふ」といふように、未来、成功、
目的、それだけに集中すると今の大切なもの
を見失ってしまふ。私にとって人生はささや

かなことを鑑賞すること、そしてそれを大切に
にすること、そのやさやかな喜びを守るた
めには努力することである。